

せいざせき・むつしゅうけせんぐんとうにむらそくりょうのひ

星座石・陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑

県指定史跡 昭和 60 年 12 月 27 日指定

江戸時代の地理学者である伊能忠敬が幕府の命により、享和元年（西暦 1801 年）に伊豆から東北にかけて海岸線を測量、その年の 9 月 24 日、唐丹の地に至り、北緯 39 度 12 分と測量しました。

文化 11 年に唐丹の天文地理学者葛西昌丕[かさい まさひろ]が、忠敬の業績を記念して碑を建立しました。このような碑は全国に忠敬がその足跡をとどめている中で唯一のものであり、日本の科学史上注目すべき碑となっています。

また、葛西昌丕は測量之碑を建立するとともに、北緯の度数を中心に黄道十二宮と、十二次といわれる星座名を交互に配列、石に刻して残しました。



測量の碑



星座石